

お墓建立費用、全国平均額169.3万円、昨年より9.2万円のアップ

和型お墓 31.3%、シンプルな洋型が 46.0%と洋型化進行

全優石の「2022 年版 お墓購入者アンケート調査」結果発表

最も高い九州と最も安い北海道では価格差 56 万円

全国約 300 社の石材店で組織される「一般社団法人 全国優良石材店の会」（事務局：東京都品川区、会長：吉田 岳、略称：全優石）が実施した「2022 年お墓購入者アンケート調査」の最終結果がこのほどまとまりました。この調査は、今年 3 月 1 日～5 月 31 日の 3 か月間に、全優石に加盟する全国の石材店で実際にお墓を購入した人を対象に、郵送法（郵便による自記式調査）で実施しました。

今年の春、実際にお墓を購入した人に対する全国規模での調査で、有効回答数は 1655 名。お墓購入者の実態や意識を知る上で国内最大規模の調査です。2004 年から毎年春に実施していて、今年で 18 回目となり、18 年間の年次推移も把握できる貴重な資料です。以下が調査結果の主なポイントです。

- 墓地と墓石を「同時新規購入」は全国で 45.7%でした。お墓を建立した人の約 2 人に 1 人は、新規墓地を購入していることが分かります。墓石タイプ別では、伝統的な和型を建てた人の新規墓地購入は 26.2%と少なく、相対的に既存墓地比率が高くなります。洋型、デザインのお墓を建てた人は新規墓地（洋型は 59.4%、デザインのお墓は 54.5%）が多い傾向にあります。
- 建てたお墓の形を全国でみると、伝統的な和型31.3%、シンプルな洋型46.0%、デザイン墓15.6%となりました。伝統的な和型は、10年前と比較すると約10%低くなっていますが、ここ 3～4 年は、30%台前半の建立比率で、一定の和型志向層が存在することが窺えます。
- 2004 年からの推移でみると「伝統的な和型」が 66.5%から 35.2%減少し 31.3%に、「シンプルな洋型」が 22.7%から 23.3%増加し約 2 倍の 46.0%に、「デザイン墓」が 6.1%から 9.5%増えて 15.6%になっています。
- 関東地方、特に一都 3 県では、洋型 67.2%と過半数を占め、和型は 15.4%に減少しています。洋型とデザイン墓を合わせると 79.3%と約 8 割を占めます。洋型お墓は台石の上に、低く横長の幅の広い石碑を載せた形で建つのが一般的で、安定感があり、地震での倒壊のリスクも低く、かつ価格も低予算といったことが人気の秘密です。また洋風の民営霊園などの登場、故人が好きだった文

字などを自由に墓石に刻むことができるなどの点も大きく影響していると思われます。

■しかし地域別にみても、浄土宗・浄土真宗の多い北陸地方で 73.5%、中国地方で 72.2%、近畿で 64.0%、四国地方 58.5%と西日本では、伝統的な和型お墓が 50%以上を占め、伝統的な和型への根強い支持が窺われます。

■墓地取得費用を除いた墓石の購入金額は、100 万円～200 万円台が最も多く 48.6 %と半数近くを占めます。次いで、50 万円～100 万円が 21.2%、200 万円～300 万円が 18.2%でした。

■次に平均購入価格を計算してみると、全国平均で 169.3 万円となり、昨年の 160.1 万円よりも 9.2 万円のアップになりました。平均価格は、この 10 年間はほぼ 160 万円台で推移しています。(2020 年 157.0 万～2016 年 170.4 万)

■墓石タイプ別の平均単価で、最も高いのはデザインのお墓で 184 万円、次いで伝統的な和型の 183.6 万円、最も安いのはシンプルな洋型で 157.2 万円でした。伝統的な和型とシンプルな洋型の価格を比較すると、26.4 万円の差があり、タイプ別で最も建立数が多いシンプルな洋型が、全体の平均価格を押し下げていることが見て取れます。

■地域別にみても、お墓が最も高いのは九州地方 (198.0 万円)、次いで関東地方 (173.0 万円、一都三県 (172.9 万円)、中国地方 (171.5 万円)、近畿地方 (170.1 万円)、北陸地方 (168.8 万円)、四国地方 (161.8 万円)、中部地方 (158.0 万円)、北海道 (142 万円) の順になりました。最も高い九州地方と最も安い北海道地方では 56 万円の地域差があります。

■「墓石選びで重視したことは」という複数回答に対して、①石の色が 44.0%、②石の材質 40.4%と石そのものに対するこだわりが強いことがわかりました。また石の色、石のデザイン、シンプルなデザイン、自分らしいデザインなどのデザイン項目は 72.4%となっています。

■「墓石選びで重視したことは」について別角度からみてみます。

- ・地域の特徴をみると、北海道、北陸、四国、九州といったエリアで「手入れのしやすさ」が平均 (23.1%) より10%以上高くなっており、気候・天候・環境を反映させる結果となっています。

- ・お墓のタイプ別にみると、平均に比べ、「伝統的な和型」の方は、「石の材質」「国内産の石」が高く、

- 「シンプルな洋型」は、「石の色」「価格の手頃さ」が高い

- 「デザインのお墓」は、「石のデザイン」「自分らしいデザイン」が高い

という具合に、それぞれのお墓タイプにより、こだわりの違いを示しています。

す。

■「墓石を購入する際に参考にした情報は」の複数回答に対し、圧倒的に多かったのは「石材店のアドバイス」59.4%でした。次いで「墓地に行って他の墓石を参考にした」が37.3%でした。3番目に「石材店のショールーム」32.4%があげられ、トップの「石材店のアドバイス」、4番目の「石材店のチラシ」と合わせると91.8%となり、石材店の影響力が大きいことがわかります。また「墓地に行って他の墓石を参考にした」と「石材店のショールーム」をプラスすると69.7%となり、一生一度の買い物はより慎重に、自分の目で確かめる傾向が窺えます。

■「参考にした情報」の墓石購入価格別にみると
高額墓石購入になればなるほど、石材店の影響力が高まります。
・50万未満の低額購入層は「家族や親戚の話を参考にした」の比率が高い。
・100万円以上300万円未満の層は「石材店のショールーム」が他の層に比べ高い傾向にあります。
・500万円以上の高額購入層は「石材店のアドバイス」が73.1%と特に高い傾向にあります。

■17.5%の人が、「納骨堂」「樹林墓」「合祀墓」「散骨」等も検討するが最終的に「石の墓」を選択
お墓を建てる前に考えていたお墓や関心事について聞いてみると、石のお墓を建てた人に対する質問だけに、圧倒的に「石のお墓」が多く82.5%、次いで「納骨堂」9.7%、「樹林墓」9.3%、「合祀墓」4.4%、「散骨」2.7%という結果でした。当初から石の「お墓を検討していた人」は、全体の82.5%で、「それ以外の人（17.5%）」は、当初は「石のお墓以外」を含めて検討していましたが、最終的に「石のお墓」を建立していることになります。

以上の件に関する取材のお問い合わせは

■一般社団法人 全国優良石材店の会（広報担当：吉田）

東京都品川区上大崎 2-7-15 （〒141-0021）

電話 03-5423-4014 FAX 03-5423-4050

■インフォメーションセンター E-Mail sasaki@info-ginza.com

佐々木 勉（携帯電話 090-4729-0545）

〒104-00411 東京都中央区新富 1-5-5 トーア新富 210

電話 03-6275-2880 FAX 03-6275-2885

※詳しい調査内容全文は

<http://www.info-ginza.com/zenyuseki/>で閲覧、ダウンロードできます。

「墓地と墓石を同時新規購入」が全国で 45.7%、洋型は新規購入民営墓地に

まず、最初に墓石を建てた墓地の形態からみると、「新しく購入した墓地」（寺院、公営、民営含み）が 45.7%、「すでにあった墓地」（寺院、公営、民営、地域や共同体の墓地含み）が 50.0%、「屋内式のお墓」0.3%でした。



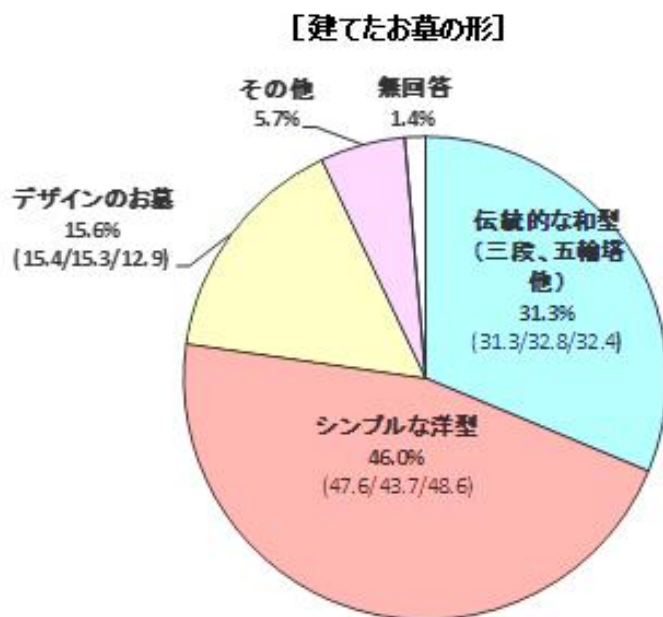
墓石タイプ別にみると、“伝統的な和型”は「地域や共同体の墓地」に多く、“シンプルな洋型”は「新しく購入した民営墓地」で、また“デザインのお墓”は「新しく購入した寺院墓地」、「新しく購入した民営墓地」での建立が多い傾向にあります。

墓石タイプ別墓地の形態

	N	新しく購入した寺院墓地	新しく購入した公営墓地	新しく購入した民営墓地	すでにあった寺院墓地	すでにあった公営墓地	すでにあった民営墓地	地域や共同体の墓地	屋内式のお墓	新規墓地購入比率
全体	1655	13.6	9.1	23.0	15.3	10.0	10.3	14.4	0.3	45.7
墓石タイプ										
伝統的な和型	518	11.8	6.9	7.5	19.5	12.9	13.3	23.7	0.6	26.3
シンプルな洋型	761	13.5	9.6	36.3	12.6	8.0	9.6	8.4	0.1	59.4
デザインのお墓	259	20.5	13.9	20.1	13.5	10.0	8.5	11.6	0.4	54.4
その他	94	8.5	5.3	14.9	21.3	11.7	6.4	21.3	0.0	28.7

伝統的な和型は 31.3%と約 3 割余り、シンプルな洋型が 46.0%
西日本の根強い和型志向に対し、一都三県では 67.2%が洋型

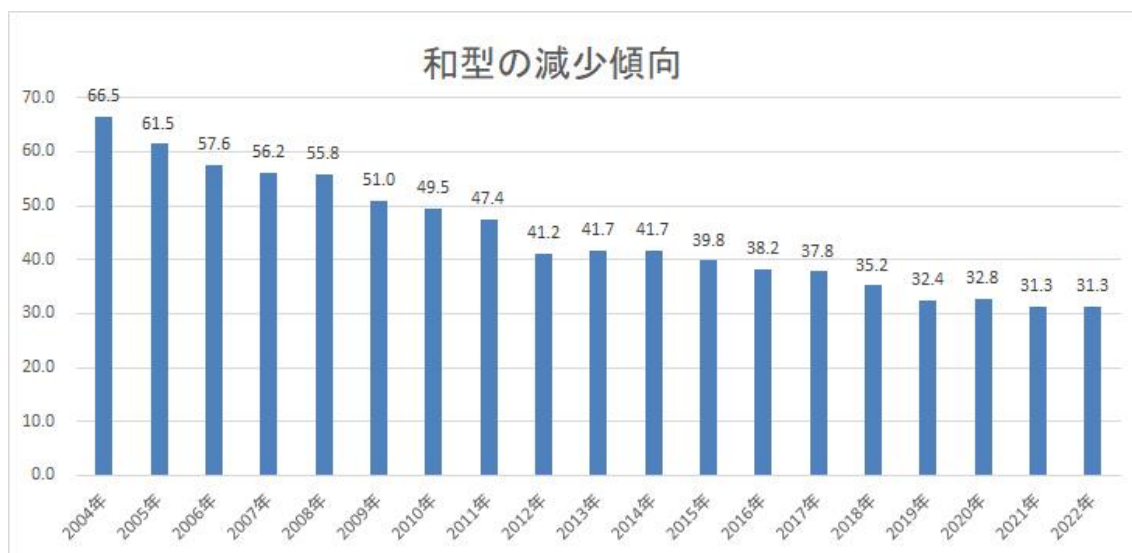
建てたお墓の形を全国でみると、「伝統的な和型」は 2010 年以来半数を割っているが今年は 31.3%となりました。「シンプルな洋型」は 46.0%、「デザイン墓」は 15.6%となりました。

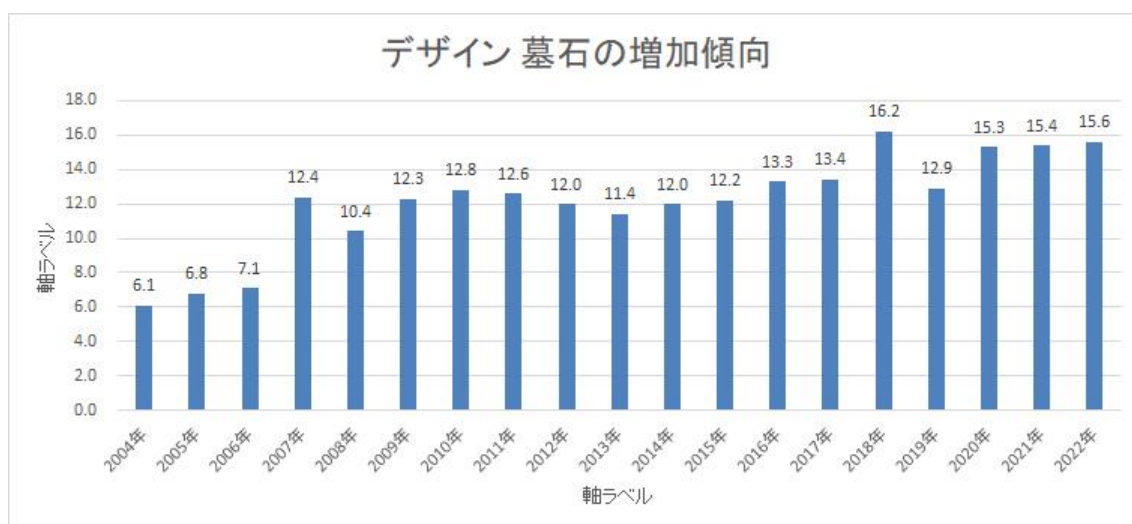
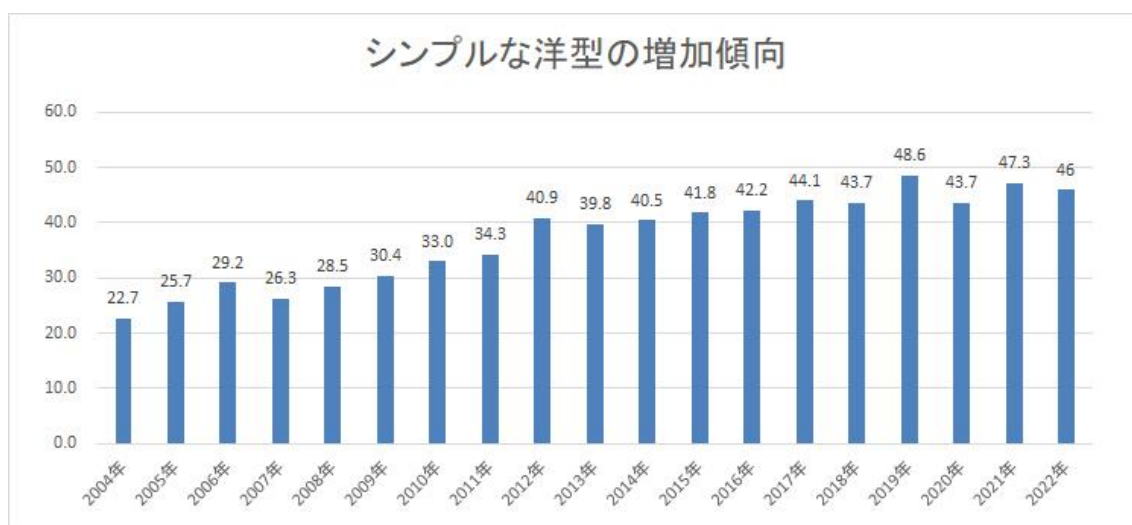


※()内は2021年/2020年/2019年の数値。

2004年からの推移でみると「伝統的な和型」が66.5%から35.2%減少し31.3%に激減し、「シンプルな洋型」が22.7%から倍増し46%に、「デザイン墓」が6.1%から9.5%増え倍以上増の15.6%になりました。

しかしここ3～4年は、「伝統的な和型」は30%台前半でとどまっており、一定の和型志向層が存在することが窺えます。



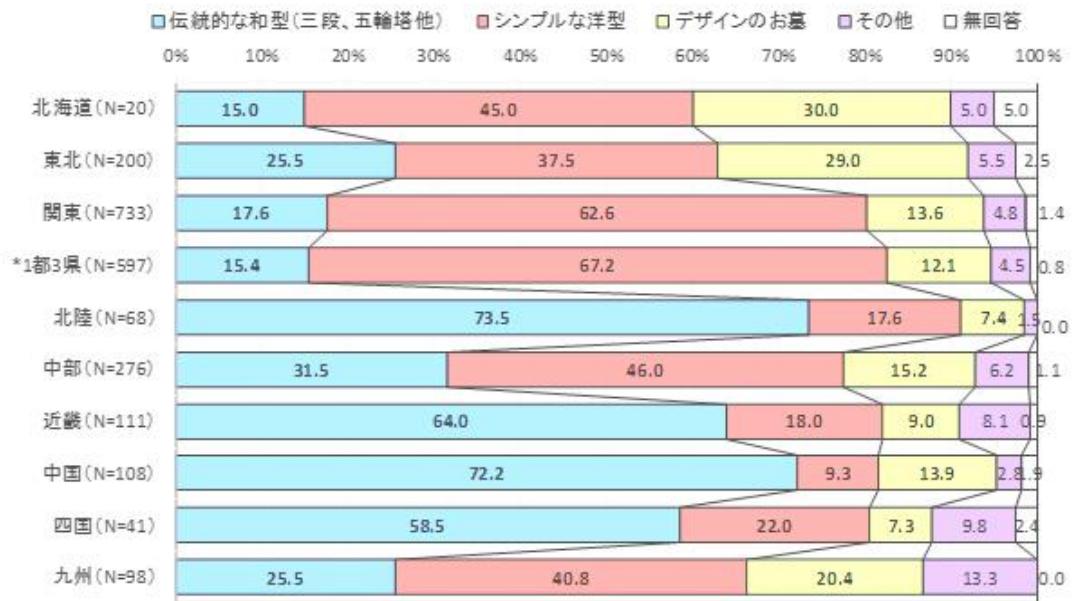


地域別にみても、北陸地方で73.5%、中国地方で72.2%、近畿地方64.0%、四国地方58.5%と西日本では、伝統的な和型お墓が50%超を占め、伝統的な和型への根強い支持が窺われます。

逆に関東、特に一都3県では、洋型67.2%と過半数以上を占め、和型は15.4%に減少しています。洋型にデザイン墓を合わせると79.3%と8割近くを占める結果です。

また、デザインのお墓は「新しもの好きの「県民性」といわれる北海道地方が30.0%と高く、続いて東北地方で29.0%、九州地方が20.4%と他の地域に比べて建立比率が高くなっています。

お墓の形 地域別



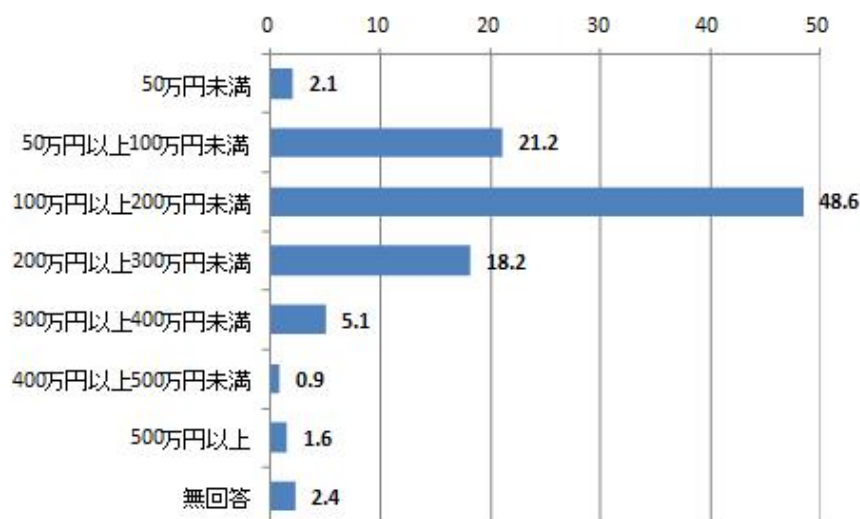
お墓の全国平均価格、昨年より9.2万円高い169.3万円
シンプルな洋型が最も安く157.2万円で、全体の平均価格を押し下げ

墓地取得費用を除いた墓石の購入金額は、100万円～200万円台が最も多く48.6%と半数近くを占めます。次いで、50万円～100万円が21.2%、200万円～300万円が18.2%でした。

【墓石の購入価格】

単位：万円

N=1655

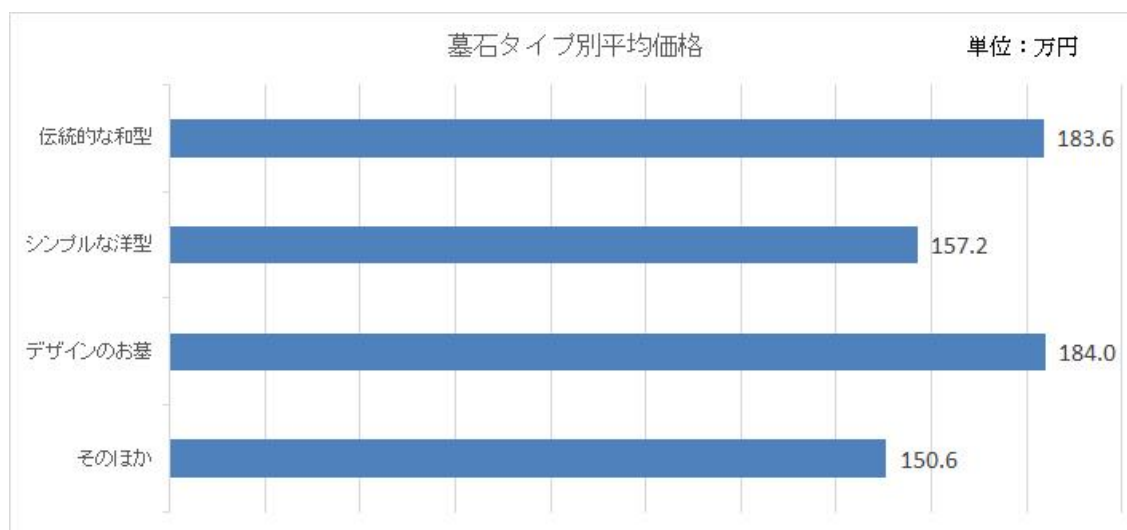


次に平均購入価格を計算してみると、全国平均で169.3万円となり、昨年の160.1万円よりも9.2万円のアップになりました。この10年間は、ほぼ160万円

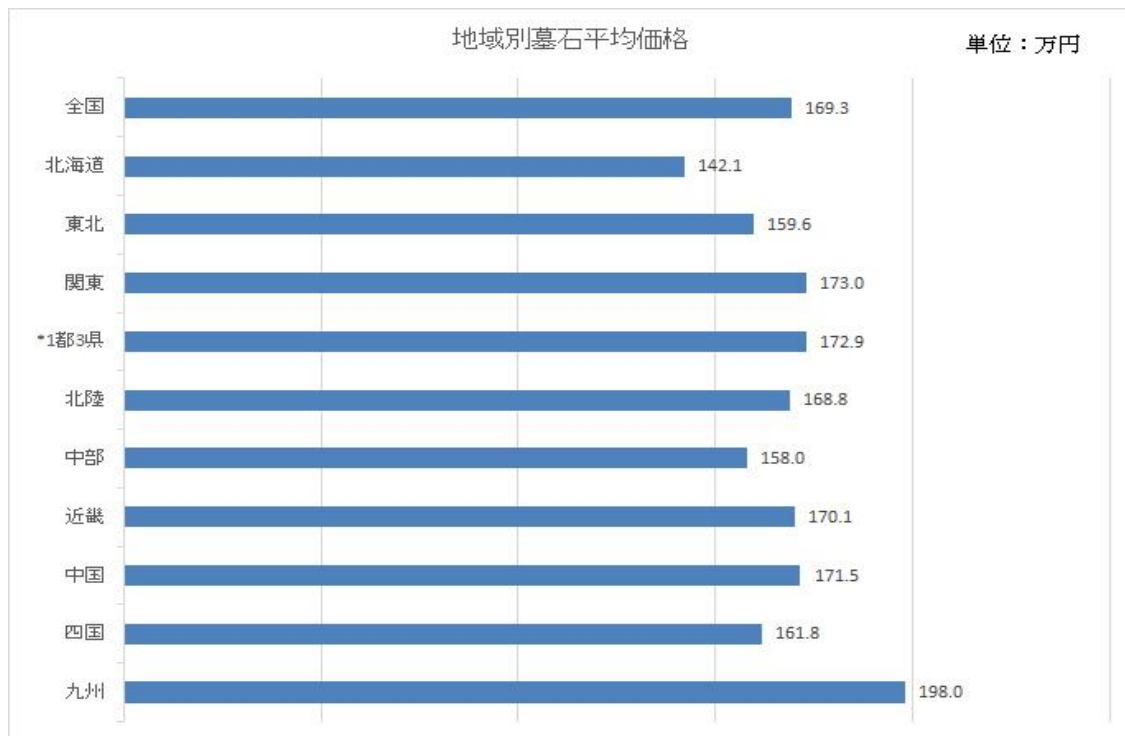
台で推移しています。（2020年157.0万～2016年170.4万）



墓石タイプ別の平均単価は、最も高いのはデザインのお墓で 184 万円、次いで伝統的な和型の 183.6 万円、最も安いのはシンプルな洋型で 157.2 万円でした。お墓のタイプ別で最も多い 46.0%のシンプルな洋型が全体の平均価格を押し下げているようです。



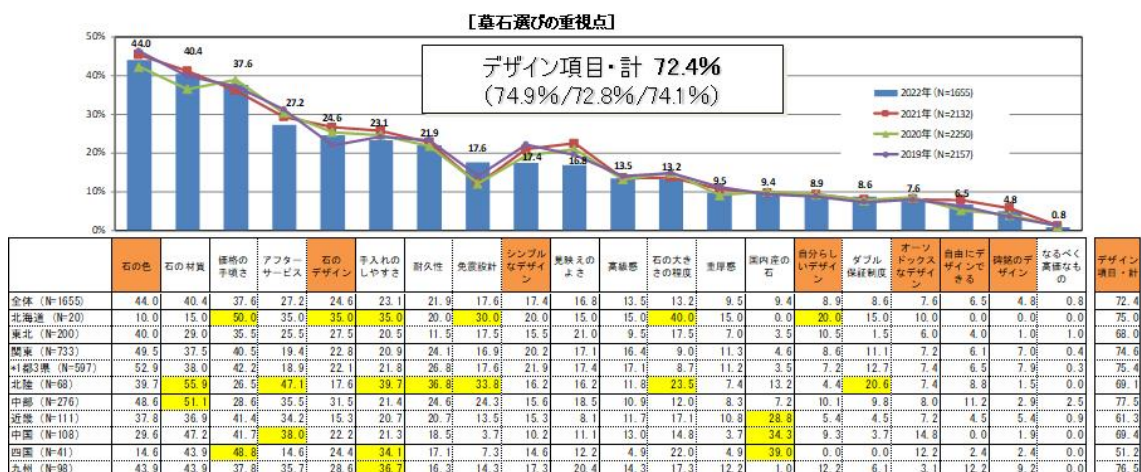
地域別にみると、最も高いのは九州地方の 198 万円、次いで関東地方で 173 万円、一都三県の 172.9 万円、中国地方の 171.5 万円、近畿地方の 170.1 万円、北陸地方の 168.8 万円、東北地方の 159.6 万円、中部地方の 158 万円、北海道地方の 142.1 万円の順でした。最も高い九州地方と最も安い北海道地方では 55.9 万円の開きがあります。



① 石の色、②石の材質と、墓石選びで重視は石に対する強いこだわりが

「墓石選びで重視したことは」の複数回答に対して、①石の色、②石の材質と石そのものに対するこだわりが強いことが窺えます。続いて③価格の手頃さ、④アフターサービス、⑤石のデザインがあげられました。

また石の色、石のデザイン、シンプルなデザイン、自分らしいデザインなどのデザイン項目は72.4%となっています。



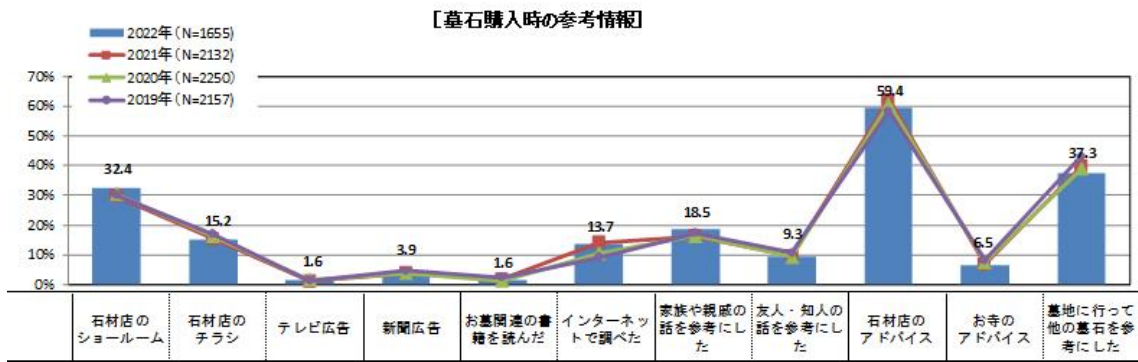
地域的な特徴をみると、北海道、北陸、四国、九州といったエリアで「手入れのしやすさ」が平均 (23.1%) より10%以上高くなっており、気

候・天候・環境を反映させる結果となっています。

またお墓のタイプ別にみると、それぞれの平均に比べ、「伝統的な和型」の方は、「石の材質」「国内産の石」が高く、「シンプルな洋型」は、「石の色」「価格の手頃さ」が高い傾向にあります。「デザインのお墓」は、「石のデザイン」「自分らしいデザイン」が高く、それぞれのお墓タイプにより、こだわりの違いを感じさせます。

墓石を購入する際に参考にした情報のトップは「石材店のアドバイス」

「墓石を購入する際に参考にした情報は」の複数回答に対し、圧倒的に多かったのは「石材店のアドバイス」です。一生に一度あるかないかのお墓づくりでは、やはり実績のある専門業者、石材店が最も頼りになる情報源となっているようです。次に「墓地に行つて他の墓石を参考にした」があげられました。我が目で確認し、お墓づくりのイメージを膨らませているようです。3番目に「石材店のショールーム」があげられ、トップの「石材店のアドバイス」、4番目の「石材店のチラシ」と合わせて、石材店の影響力が大きいことがわかります。



墓石購入価格別にみると、高額墓石購入になればなるほど、石材店の影響力が高まります。

- ・ 50万未満の低額購入層は「家族や親戚の話を参考にした」の比率が高い。
- ・ 100万円以上300万円未満の層は「石材店のショールーム」が他の層に比べ高い傾向にあります。
- ・ 500万円以上の高額購入層は「石材店のアドバイス」が73.1%と特に高い傾向にあります。

墓石購入時の参考情報【購入価格帯別】

	N	石材店のショールーム	石材店のチラシ	テレビ広告	新聞広告	お墓関連の書籍を読んだ	インターネットで調べた	家族や親戚の話を参考にした	友人・知人の話を参考にした	石材店のアドバイス	お寺のアドバイス	墓地に行つて他の墓石を参考にした
購入価格												
50万円未満	34	26.5	8.8	0.0	0.0	0.0	11.8	29.4	8.8	50.0	8.8	17.6
50万円以上100万円未満	351	30.8	13.1	0.9	2.3	0.9	12.3	15.4	9.1	60.7	4.3	35.3
100万円以上200万円未満	805	35.3	16.9	1.4	3.6	1.7	14.5	18.6	8.3	62.4	6.8	37.8
200万円以上300万円未満	301	35.9	16.9	1.7	6.3	2.3	15.6	20.3	12.3	59.1	6.0	42.2
300万円以上400万円未満	84	19.0	9.5	8.3	7.1	0.0	10.7	22.6	9.5	52.4	11.9	42.9
400万円以上500万円未満	15	40.0	33.3	0.0	13.3	6.7	6.7	26.7	0.0	33.3	13.3	53.3
500万円以上	26	19.2	3.8	3.8	0.0	3.8	19.2	19.2	15.4	73.1	7.7	34.6

全体より10ポイント以上高い

全体より5ポイント以上高い

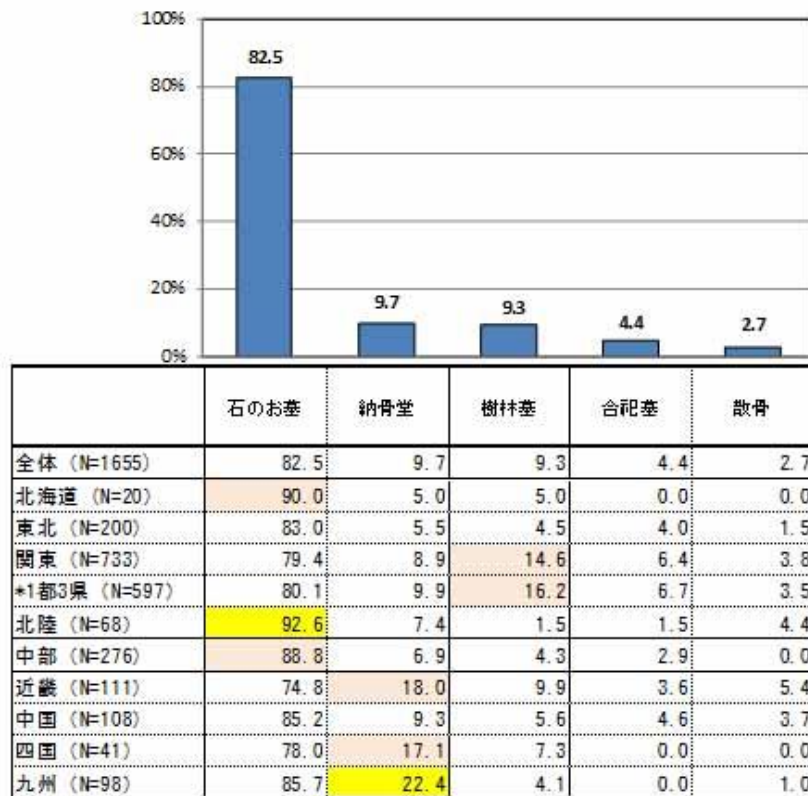
※調査率が高いためサンプル数20未満の誤差は除く

**17.5%の人が、「納骨堂」「樹林墓」「合祀墓」「散骨」等を
検討するも最終的には「石の墓に」**

お墓を建てる前に考えていたお墓や関心事について聞いてみると、石のお墓を建てた人に対する質問だけに、圧倒的に「石のお墓」が多く82.5%、次いで「納骨堂」9.7%、「樹林墓」9.3%、「合祀墓」4.4%、「散骨」2.7%という結果でした。

当初から石の「お墓を検討していた人」は、全体の82.5%で、「それ以外の人（17.5%）」は、当初は「石のお墓以外」も含めて検討していたが、最終的に「石のお墓」を建立しています。

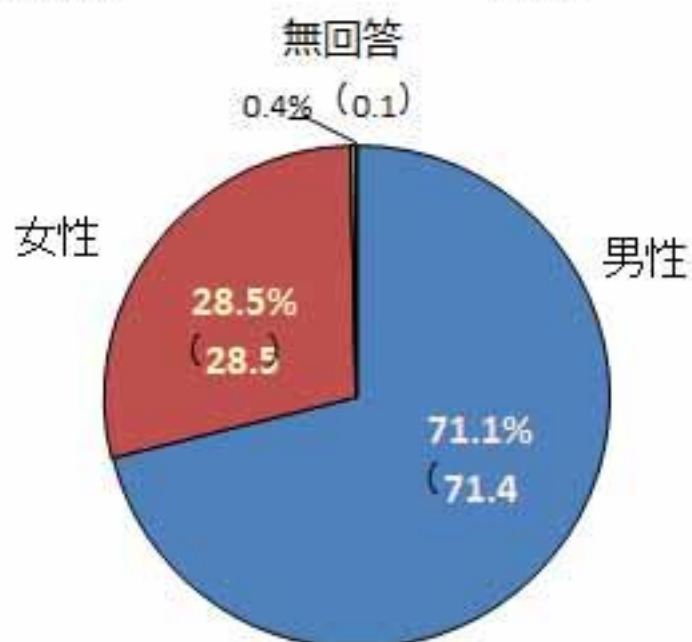
【検討したお墓や関心事】



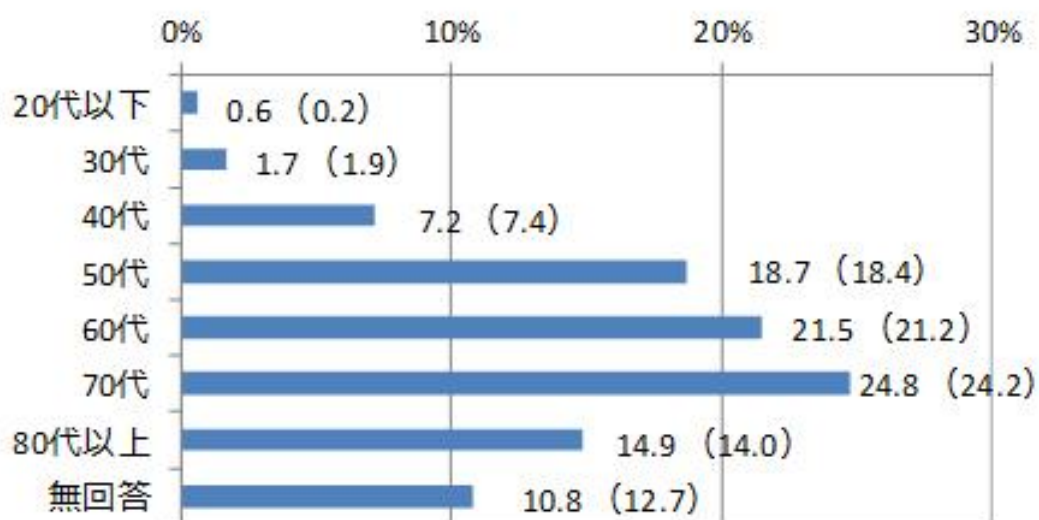
調査対象者のプロフィール（有効回答サンプルは 1,655 名）

【性別】

N=1655



【年代】



平均年齢 65.8歳(65.9歳)

()=2021年

【居住地サンプルシェア】

N=1655

